

※漢文の学習において、声に出して読み、自分の耳からも記憶させておく作業は、古文以上に大切だと考えます。

レポートのタイトル「故事・寓話」とは何か？

故事・・・大昔にあった物や出来事。また、遠い過去から今に伝わる、由緒ある事柄。特に中国の古典に書かれている逸話のうち、今日でも「故事成語」や「故事成句」として日常の会話や文章で繁用されるもの

寓話・・・比喻によって人間の生活に馴染みの深いできごとを見せ、それによって諭すことを意図した物語。名指しされることのない、つまりは名無しの登場者は、動物、静物、自然現象など様々だが、必ず擬人化されている。

ぐわりようてんせい

画竜点睛

（現代仮名遣いで読めますか？）

「晴」

と間違えないように！

一、P 170 L 4 「両竜」：両手（二本の手）、一両日中（一日から二日の間で）、両名（二名）などから考える。

二、P 170 L 1 「多命僧繇画之」

※「命」は使役（命令して（誰それに）やらせる、させる）の意味。

三、P 170 L 3 「請点之」

※「請」は自肅要請として使われるように（強制力はないが）（強くお願いする）の意味。

四、「画竜点睛を欠く」として、否定的に使われることが多い。

推敲

（現代仮名遣いで読めますか？）

「末」

「末」

と間違えないように！

二、P 171 L 2 「未決」

※再読文字は右のふりがなを先に読み、左のふりがなを返り点に従って後から読む。書き下し文にするときは、二回目に読む文字は助動詞なのでひらがなにします。

未決

（教科書には「ず」は終止形のため記載されていないが、分かり易さのためここでは書いてある。）

（学習書P 209上段 書き下し文参照）

再読文字を含む、現代でも使われる熟語

・未完成

・未確定

・未婚

・未来

・将来・・・など。

※実際の賈島が詠んだ漢詩は左にあります。

推

「推しメン」の「推」！

閑	草	鳥	僧	過	移	暫	幽
居	径	宿	敲	橋	石	去	期
少	入	池	月	分	動	還	不
鄰	荒	中	下	野	雲	来	負
竝	園	樹	門	色	根	此	言

国語総合の復習です。

Q 1 この詩の形式は？

Q 2 四つの漢字を□で囲んであるのはどういう意味があるか？

◎「敲」になった理由

月明かりの下の静かな家の扉をノックするとその音が周囲に響いて風情があるから。

朝三暮四

P 172 下段 最初に「朝三而暮四」とし、次に「朝四而暮三」と変えたねらいはどこにあるか。：猿たちにとって、一日の

始まりである朝食に食べられるドングリの量が多い方がいいので、それを先に言うか、後に言うかで印象が変わることに注意。

二、「朝四①而暮三、足②乎。」（狙公が猿たちをだました言葉。三問ともしつかり覚えておこう。）

①朝に四にして（接続助詞「て」にあたる助字。置き字。）
②疑問を表す助字。書き下し時はひらがな。

朝○暮△の成り立ちを持つ四字熟語

・朝令暮改（ちようれいぼかい）
・朝改暮変（ちようかいぼへん）

・朝雲暮雨（ちよううんぼう）
・朝開暮落（ちようかいぼらく）

・朝盈夕虚（ちようえいせきよ）
・朝改暮令（ちようかいぼれい）

背水之陣

二、「殊死戦」とは「死にもぐるいで戦う」(学習書P 240下段) という意味である。中国の川が日本の川と比べてどのような特徴があるから、「死にもぐるいで戦う」必要があったのか、書けるようになるう。

三、「今背水①而勝何②也」

①水を背にして(接続助詞「て」にあたる助字。置き字。)

②疑問を表す助字。書き下し時はひらがな。

中国の詩

三大詩人

- ・王維：詩仏
 - ・杜甫：詩聖
 - ・李白：詩仙
- それぞれあだ名があるので覚えておこう。

鹿柴

起句：不_レ見_レ人 レ点で一次ずつ返る。「不」はひらがなにす。

転句：返景_{||}夕日(赤い)。結句の青苔との色の対比。「入_二深林_一」「一」のあと「二」を読む。深林に入る)

押韻：響(kyou)、上(jou)

問 「但聞人語響」とはどういうことか。：起句で「不見人」とあるので、あたりに人は見えない。だから「人語」とは「どこかから聞こえてくる人の声」である。

絶句

起句・承句：四色の色が景色に使われていることが分かりますか? 「然」が何色の、どんな花を表すか考えてみましょう。(学習書P 228上段。中国では常識として、ある二つの花であることが多い。)

押韻：然(nen)、年(nen)

問 「看」には作者のどのような気持ちが表れているか。「又」とあわせて、今年もまたどうすることもできず季節が過ぎていくことを表す)

不出門

対句 (三句)	都府楼	纔	看	瓦色	(五句)	中懷	好	逐	孤雲	去
(四句)	觀音寺	只	聽	鐘声	(六句)	外物	相	逢	滿月	迎

押韻：荆(gyou)、情(jou)、声(syou)、迎(gyou) 行(gyou)

一_句：從(助詞のため「より」とひらがなにす) 二_句：競競、踟躕 三_句：纔 五_句：逐 六_句：逢

※漢詩の頻出のテーマ※ レポートの三つの詩は、どのテーマで詠まれているか、考えてみよう

- ・四季
- ・自然
- ・旅情
- ・友情
- ・戦争
- ・家族
- ・別れ
- ・老い
- ・不遇な人事